

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校名 豊田市立 若園小学校

1 テーマ

全ての児童が「安心・安全」に過ごせる学校づくり

2 ねらい

全ての児童が「安心・安全」に過ごせる学校づくりのために、次の2点を視点とする。

(1) 相談体制を充実させることにより、児童が悩みを一人で抱えることなく、健やかに学校生活を送ることができるようとする。

(2) 学校応援団として地域講師や地域ボランティアによる学習支援、体験活動支援、教育環境支援の力を取り入れ、子どもたちが楽しく学ぶ環境づくりを推進する。

3 活動内容

(1) 相談体制の充実

- ① 定期的なアンケートや教育相談の時間を確保し、児童が相談しやすい体制をつくった。
- ② スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ハートラウンジスタッフに加え、心の相談員を配置することにより、学校内で担任以外の大人に相談できる機会を増やした。

(2) 学習支援活動

- ① 授業支援（水泳・家庭科・校外学習見守り等）、読み聞かせ、茶道クラブ、特別支援学級などにおいて、地域ボランティアの協力を得て学習支援を行った。
- ② ボランティアの方による児童の登下校の見守り、図書館環境整備、教材づくりの活動を行った。
- ③ 地域学校共働本部と地域ボランティアの連携を図り、より子どもに寄り添う形の学校支援活動を行った。

4 成果と課題

特別支援学級には、24時間、ボランティアについていただき、授業や行事等の支援をしていただいた。茶道クラブにも、お茶の先生に来ていただき、専門的な作法を教えていただいた。（今年度は計9回）クラブ員10名もクラブ活動を楽しみにしている。

また、図書館ボランティアの方には図書館の環境整備・クリスマスカード作り、

教材作りボランティアの方には、英単語のフラッシュカードづくりや教室環境を整える物品作り、九九の暗記テストの対応等をお願いし、その分、教師が目の前の児童の指導の時間に費やした。学習活動においては、水泳授業や家庭科のミシンの学習、地域での校外学習での見守りをお願いし、児童の安全確保に協力していただいた。

2名の心の相談を、はあとラウンジで児童の対応ができるように配置した。はあとラウンジスタッフに加えて心の相談員を配置することにより、はあとラウンジスタッフだけでは対応しきれない児童や保護者、SC や SSW、家庭教育アドバイザーの対応への補いとした。はあとラウンジを居場所とする児童は4名おり、この他に臨時に避難してくる児童や休み時間に相談に来る児童など多数の児童が利用している。

相談室での教育相談も随時行っており、のべ100名以上の児童・保護者が相談に来ている。SC・SSW・はあとラウンジスタッフ・担任・保護者が連携しながら、今後も児童への支援を充実させていきたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校だよりやホームページで取組の紹介をした。はあとラウンジ・相談室の様子や各種ボランティアの活動写真、特別支援学級の様子を載せた。
- ・校区市議はじめ区長、民生委員児童委員、学校運営協議会委員等多くの方に取組の紹介をした。